

信州大学医学部附属病院 産科婦人科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「産科危機的出血における対応の時系列分析：後ろ向き研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	産科危機的出血における対応の時系列分析：後ろ向き研究
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 医療安全管理室
研究責任者(職名)	牧田ゆかり
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年3月31日
研究の意義、目的	産科危機的出血の対応を明らかにすることを目的とした研究で、患者安全上の課題を特定することに貢献すると考えられます。
対象となる方	2021年4月1日から2026年3月31日の期間に当院で経膈分娩または帝王切開術を受けられた方
利用する診療記録	患者ID、年齢、経産回数、妊娠週数、分娩様式、基礎疾患(ハイリスク因子)、血液型、自己血貯血の有無、分娩開始時刻、児娩出時刻、胎盤娩出時刻、出血量(mL)、SI 値の経過、産科 DIC スコア点数、出血確認時刻、産科医応援時刻、輸血オーダー時刻、輸血開始時刻、麻酔科コール時刻、ICU 連絡時刻、IVR 開始時刻、手術開始時刻、輸血種類 RBC(単位)、FFP(単位)、PC(単位)、トラネキサム酸投与量、フィブリノゲン製剤投与量、ICU 入室の有無等
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、産科危機的出血と各種診療記録との関係性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名)： 信州大学医学部附属病院 医療安全管理室 電話：(0263)37-3359

【診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査】の必要はありません。当院外へ患者様を直接特定できる個人情報が出ることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。